

事務連絡  
令和6年9月20日

関係都道府県及び政令市  
水産関係公共土木施設等災害復旧事業担当課長 殿

水産庁漁港漁場整備部防災漁村課  
水産施設災害対策室長

### 低気圧と前線による大雨に対する備えと被害報告等について

平素より、水産関係公共土木施設等災害復旧事業に関して特段のご理解、ご高配を賜り感謝申し上げます。

気象庁から別添「低気圧と前線による大雨について」を9月21日12時頃に発表予定との連絡を受けたところ、別添には、前線を伴った低気圧が北日本付近にあって東へ進んでおり、前線は21日(土)にかけて東北地方付近に停滞する。中国大陸の台風第14号は、今後東に進路を変えて朝鮮半島付近で温帯低気圧に変わり、22日(日)に前線上を日本海から三陸沖へ進み、23日(月)にかけて前線は本州の南岸まで南下する。また、沖縄の南の熱帯低気圧が北上して、21日には東シナ海に進む。低気圧や前線、熱帯低気圧に向かって暖かく湿った空気が流れ込んで大気の状態が非常に不安定となり、北海道を除いて全国的に広い範囲で、22日頃にかけて雷を伴った大雨となる。

土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重に警戒。暴風に警戒。高波に注意・警戒。落雷や竜巻などの激しい突風に注意。との記載があります。

このため、貴管下の漁港・海岸保全施設、漁業用施設、共同利用施設における防災上の適切な措置及び工事中の各施設について必要な安全対策を講じていただくようお願いいたします。

また、港内に停係中の漁船の上架、係留の強化など被害防止対策を講ずることについて、漁港管理者として指導等をお願いいたします。

令和元年台風第15号では、施設等の直接被害はもとより、その後の停電により水産業へ多大な被害が生じました。このような状況を踏まえ、事前に冷凍・冷蔵施設や蓄養施設等のための非常用電源の確保や点検等を行うとともに、冷凍・冷蔵施設においては開閉を控えるなどの対策を講じていただくようお願いいたします。

災害関係の事務については、災害発生後迅速に対応する必要があることから、速やかに調査を実施する必要がありますが、人命第一の観点から、暴風雨時、高波浪時においては状況が収まるまで見回りは行わないで下さい。また、調査に当たっては、危険な箇所は無理をせず、安全に十分な配慮を行って下さい。

調査結果については、漁港関係公共土木施設災害復旧事業事務要領（漁港・海岸保全施設）、漁業用施設災害復旧事業事務取扱要領（漁業用施設）、農林水産業共同利用施設災害復旧事業事務取扱要綱（共同利用施設）により速やかに水産庁 防災漁村課 水産施設災害対策室までご報告下さい。

なお、早急な対応が求められる場合には、水産庁と協議の上、応急工事（査定前着工）を実施し、被害の拡大防止等に努めるようお願いいたします。

なお、各都道府県におかれては、このことについて貴管下市町村（政令市を除く。）に周知いただきますようお願いいたします。

【災害報告連絡先】 水産施設災害対策室 佐々木、田中、菊地、林、戸倉  
Tel:03-3502-5638(直通) Fax:03-3581-0325  
mail : suisan\_saigai@maff. go. jp

【応急工事連絡先】 水産施設災害対策室 河本、小坂、海津  
Tel:03-3502-5638(直通) Fax:03-3581-0325  
mail : suisan\_saigai@maff. go. jp

**重大、重要な災害又は応急対応が必要な災害が発生した場合は、水産施設災害対策室の携帯電話（090-5408-1617）または、下記の個人直通番号へご連絡下さい。**

【個人直通】

03-3502-8181 をダイヤル後、ガイダンスに従い次の（ ）の番号を入力。

佐々木（84879）、田中（85918）、河本（88450）

# 低気圧と前線による大雨について(第1報)

(土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に嚴重に警戒)

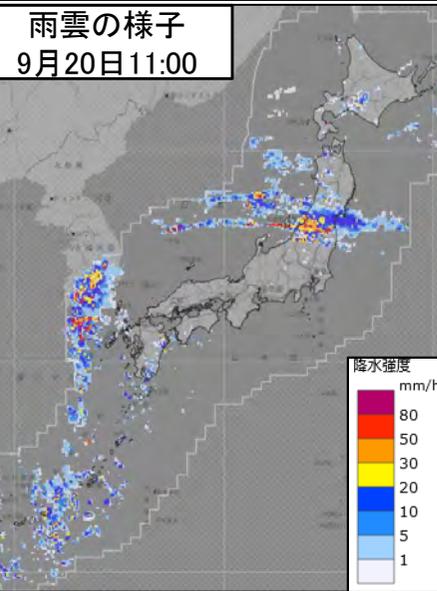
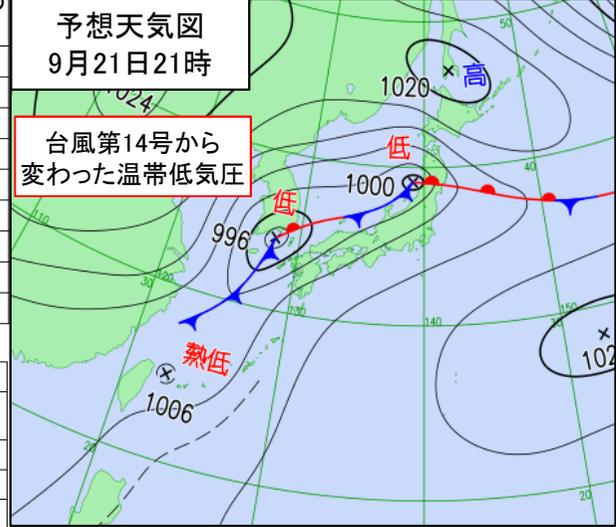
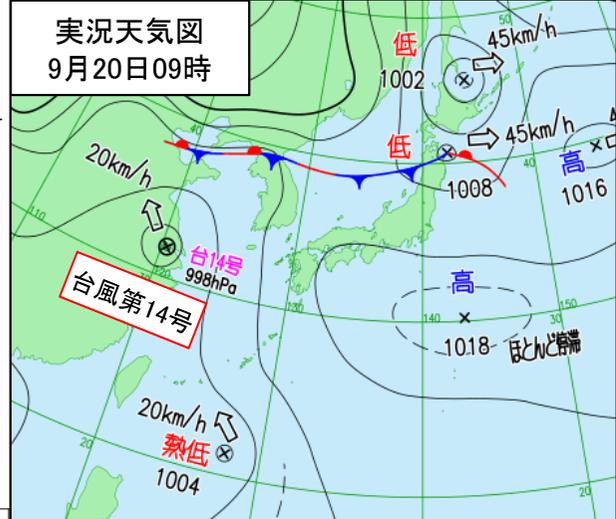
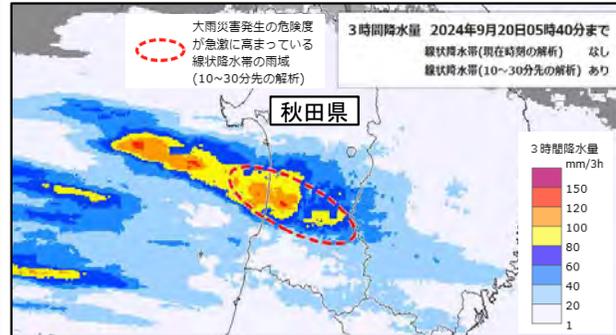
**<概況>**  
 前線を伴った低気圧が北日本付近にあって東へ進んでおり、前線は21日(土)にかけて東北地方付近に停滞する。中国大陸の台風第14号は、今後東に進路を変えて朝鮮半島付近で温帯低気圧に変わり、22日(日)に前線上を日本海から三陸沖へ進み、23日(月)にかけて前線は本州の南岸まで南下する。また、沖縄の南の熱帯低気圧が北上して、21日には東シナ海に進む。低気圧や前線、熱帯低気圧に向かって暖かく湿った空気が流れ込んで大気の状態が非常に不安定となり、北海道を除いて全国的に広い範囲で、22日頃にかけて雷を伴った大雨となる。

**<大雨>**  
 秋田県では、20日(金)明け方に線状降水帯が発生した。21日にかけては、前線の影響で東北地方から西日本にかけての日本海側では雷を伴った大雨となる。その後22日頃にかけては、台風第14号から変わった温帯低気圧の影響で、東北地方から西日本にかけての太平洋側も含めた広い範囲で、雷を伴った大雨となる。また、沖縄地方では、熱帯低気圧の影響で21日は雷を伴った大雨となる。

**<暴風・高波>**  
 台風第14号から変わった温帯低気圧の影響で、東北地方から西日本にかけての日本海側では21日から22日にかけて非常に強い風※が吹いて暴風となり、海はしける所がある。

**<警戒事項>**  
 土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に嚴重に警戒。暴風に警戒。高波に注意・警戒。落雷や竜巻などの激しい突風に注意。

※ 非常に強い風:20 m/s以上 30m/s 未満の風



### 【警戒級となる可能性のある期間】

日	時	20日		21日	22日	23日
		12~18	18~6	6~24		
東北地方	大雨	■	■	■		
	暴風					
関東甲信地方	大雨			■		
	暴風					
北陸地方	大雨			■		
	暴風					
東海地方	大雨			■		
	暴風					
近畿地方	大雨			■		
	暴風					
中国地方	大雨			■		
	暴風					
九州北部地方	大雨			■		
	暴風					
九州南部	大雨			■		
	暴風					
沖縄地方	大雨			■		
	暴風					

(■ 可能性がある、■ 可能性が高い)

### 【大雨の見通し】(単位:mm 多いところ)

地域	21日12時までの24時間雨量	22日12時までの24時間雨量	23日12時までの24時間雨量
東北地方	150	150	80
関東甲信地方	50未満	120	50
北陸地方	150	120	60
東海地方	50	120	100
近畿地方	50未満	150	100
中国地方	60	150	50
九州北部地方	180	150	80
九州南部	50未満	150	100
沖縄地方	60	80	60

### 【暴風・高波の見通し】(単位:(風):m/s (波):m)

地域	20日		21日		22日	
	最大風速(最大瞬間風速)	波の高さ	最大風速(最大瞬間風速)	波の高さ	最大風速(最大瞬間風速)	波の高さ
東北地方	13(25)	2	15(25)	2.5	18(30)	4
北陸地方	12(25)	2	18(30)	3	23(35)	4
九州北部地方	14(25)	4	20(30)	4	18(30)	4